

産学官で活躍する卓越研究員

理学と工学の橋渡し役として、
次の時代の太陽系探査を
創っていききたい。

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
太陽系科学系 特任助教(テニュアトラック)
(平成30年度卓越研究員) **菅原 春菜 さん**

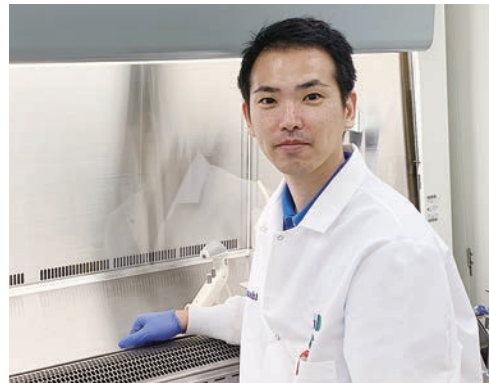


私は学位取得後、国立研究開発法人海洋研究開発機構にてポストドクトラル研究員、その後、JSPS 海外特別研究員として、フランスの大学で宇宙における有機分子の分子進化と生命誕生との関わりについて研究を行ってきました。その中で、様々な有機化学分析技術を磨くとともに、国際的な研究チームで1つのサイエンスを作り上げていく面白さや難しさを学びました。在仏中に、化学者を含む多くの物質科学者がいかに欧州の太陽系探査に関わっているのを知り、将来的な日本の探査においても、ますますこのような分野横断型のチーム作りが必要になっていくだろうと感じました。その一助になりたいと思い、現在の研究機関を選びました。ここでは有機化学者は珍しく、研究環境も十分ではありませんでしたが、卓越研究員事業を利用して必要な研究環境を整備することができました。

現在はサンプルリターンミッションに向けて、試料の有機化学分析法の開発や汚染の評価に関わると共に、将来的な太陽系探査に向け、探査天体上で分析可能な科学機器の開発も目指しています。周りは私にとっては異分野の工学系の方々が多く、ある意味、言葉も文化も違いますが、とても新鮮で学びの多い日々を過ごしています。理学と工学の橋渡し役として、さらに太陽系の彼方を目指して、新たな探査を創っていききたいです。

基礎研究からモノづくりへ。
よいサイエンスをビジネスへ。

株式会社日立製作所 研究開発グループ
基礎研究センタ 日立神戸ラボ 研究員
(平成30年度卓越研究員) **大熊 敦史 さん**



免疫学関連の研究で博士号を取得後、ポスドクとして老化学、腫瘍学、遺伝子・細胞工学を学びました。研究室を渡り歩くたびに研究内容を変化させてきた中で、分野融合型の研究に自らの強みを見出してきました。また、直前まで在籍したBoston Universityでは、モノをつくることと商業的な価値を見出すことの面白さを知りました。

今まで交流の少なかった機械工学やデータサイエンスの人材を多くかかえるモノづくりの日立製作所なら、これまでにないコラボレーションができると考え選びました。また、企業における研究はどのようなビジネス感覚の上に成り立っているのかが興味がありました。

現在は、CAR-T細胞を中心に次世代の細胞療法の開発に取り組んでいます。何年も前から思い描いていた自分のテーマが動き出すことは何にも代えがたい喜びです。

日進月歩の分野なので、古いことに執着せず新しいことをどんどん取り入れ、内にこもらず外に出る研究スタイルを目指します。

これまでに参加した多様な研究機関

これまでにのべ223機関が参加し、
214人が卓越研究員として決定されています。
(平成28～平成30年度実績)

大 学

北海道大学/室蘭工業大学/帯広畜産大学/北見工業大学/弘前大学/岩手大学/東北大学/秋田大学/山形大学/茨城大学
筑波大学/宇都宮大学/群馬大学/埼玉大学/千葉大学/東京大学/東京医科歯科大学/東京農工大学/東京芸術大学
東京工業大学/お茶の水女子大学/電気通信大学/一橋大学/横浜国立大学/新潟大学/長岡技術科学大学/富山大学
金沢大学/福井大学/山梨大学/信州大学/岐阜大学/静岡大学/浜松医科大学/名古屋大学/名古屋工業大学
豊橋技術科学大学/三重大学/滋賀医科大学/京都大学/京都工芸繊維大学/大阪大学/神戸大学/鳥取大学/島根大学
岡山大学/広島大学/山口大学/徳島大学/香川大学/高知大学/九州大学/九州工業大学/佐賀大学/長崎大学/熊本大学
宮崎大学/鹿児島大学/政策研究大学院大学/北陸先端科学技術大学院大学/奈良先端科学技術大学院大学/首都大学東京
大阪市立大学/大阪府立大学/福岡女子大学/順天堂大学/聖路加国際大学/早稲田大学/東海大学

大学共同利用機関

人間文化研究機構/高エネルギー加速器研究機構

国立研究開発法人

物質・材料研究機構/理化学研究所/宇宙航空研究開発機構
日本原子力研究開発機構/産業技術総合研究所

企 業

旭化成(株)/味の素(株)/アステラス製薬(株)/飯田グループホールディングス(株)/出光興産(株)/(株)Epsilon Molecular Engineering
(株)オンチップ・バイオテクノロジー/Karydo TherapeutiX(株)/キャノン(株)/キリン(株)/塩野義製薬(株)/(株)ジーンクエスト
JXエネルギー(株)/JFEスチール(株)/シンクサイト(株)/住友化学(株)/住友電気工業(株)/(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所
第一三共(株)/(株)ダン計画研究所/トヨタ自動車(株)/(株)豊田自動織機/(株)ニコン/(株)日産アーク/日産自動車(株)/日本製粉(株)
日本電気(株)/日本電子(株)/(株)Nextremer/パナソニック(株)/(株)日立製作所/ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)
(株)HIROTSUバイオサイエンス/(株)富士通研究所/富士フイルム(株)/三菱電機(株)/(株)ユーグレナ/リバーフィールド(株)

公益財団法人

公益財団法人がん研究会

※機関名は事業へ参加時点の名称

※上記一覧は平成28年度～令和元年度にポストを提示した機関

◆卓越研究員事業について詳しくは <https://www.jsps.go.jp/j-le/index.html>

【お問い合わせ先】

<事業全般に関すること>

文部科学省 科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室
E-mail: takuetsu@mext.go.jp TEL: 03-5253-4111 (内線4021)

<申請・補助金に関すること>

独立行政法人日本学術振興会 卓越研究員事業担当
E-mail: takuken@jsps.go.jp TEL: 03-3263-3769



博士人材の採用を支援する

卓越研究員事業

文部科学省補助事業

Leading Initiative for
Excellent Young
Researchers



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会

令和2年度版
研究機関用

卓越研究員事業を活用した採用

卓越研究員事業は、若手研究者が安定かつ自立して研究を推進できる環境を実現するとともに、全国の産学官の研究機関での活躍を支援する事業です。

卓越研究員事業では、優秀な博士人材の採用を希望する研究機関からポストを提示していただき、並行して当該ポストに就きたい若手研究者からの申請を受け付けます。申請のあった若手研究者の中から、文部科学省が優秀な人材を「卓越研究員候補者」として選考し、「卓越研究員候補者」とポスト提示機関との当事者間交渉の結果、提示されたポストに「卓越研究員候補者」が採用された場合に、「卓越研究員」として支援を行う事業です。



※1 若手研究者：博士の学位を取得又は博士課程を満期退学した者で、令和3年4月1日現在40歳未満の者（ただし、臨床研修を課された医学系分野に在籍した者においては43歳未満）、かつ直近5年間に研究実績のある者、これまで文部科学省から卓越研究員として決定されたことがない者

※2 対象研究機関：国公立大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国立研究開発法人、公設試験研究機関、研究開発活動を行っている日本国内に法人格を有する企業等（一般社団法人や一般財団法人（行政庁による公益認定を受けている公益社団法人及び公益財団法人を含む）を含む）

卓越研究員事業の特徴

ポイント
1

優秀な博士人材に出会うことができます！

国内及び海外から申請のあった多くの若手研究者の中から、優秀な人材を「卓越研究員候補者」として選考しますので、豊富な人材の中から、希望する人材を見つけることができます。



ポイント
2

選考された博士人材を採用した場合、科学技術人材育成費補助金による支援が受けられます！

研究機関があらかじめ提示したポストに、卓越研究員候補者に選考された博士人材を採用した場合、「卓越研究員」に決定し、研究機関に対して必要に応じて補助金による支援を行います。

（支援内容）

◆卓越研究員の研究費：

卓越研究員の決定後1～2年度目（※）に限り、卓越研究員一人当たり2年間で1,200万円を上限として支援。（2年間の配分は自由。ただし、年間800万円を上限。人文学及び社会科学については、2年間で800万円を上限として支援し、年間500万円を上限）

※翌年度に雇用開始となり、補助金による支援対象となった場合は2～3年度目

◆研究環境整備費：

卓越研究員の決定後、原則として、1～5年度目に各年度200万円に在籍する卓越研究員の数を乗じた額を上限

ポイント
3

採用活動だけでなく、企業と大学間での共同研究や、受託研究等の産学官連携にも役立てられます！

企業が採用した「卓越研究員」が、大学等との共同研究や受託研究に携わる場合、産学連携活動費を支援します。



（支援内容）

◆産学連携活動費： ※企業のみ選択可能

卓越研究員の決定後1～5年度目に、企業が負担する産学連携活動費の1/2を上限に各年度1,000万円まで支援

※企業のみ「卓越研究員の研究費及び研究環境整備費」又は「産学連携活動費」のいずれかを選択可能

ポイント
4

研究機関と若手研究者の交流や当事者間交渉促進のための取り組みを行っています！

若手研究者に向けた公募説明会での「研究機関と博士人材の交流の機会」を利用して、この事業に申請を予定している若手研究者の生の声をきくことができます。

3月～4月 東京、大阪 開催予定

採用活動がより円滑に進むよう、当事者間交渉支援機関「ブリッジプロモーター」による支援を導入予定です。



申請要件や補助金等の詳細はホームページや公募要領をご確認ください。